

■公開講座

ボリショイ・オペラと チャイコフスキーのオペラ

講師 音楽評論家 堀内 修

かつてソ連の文化の中心であったボリショイ・オペラが、今年14年ぶりに来日公演を行なう。パリでの「エフゲニ・オネーギン」で復活したといわれた新生ボリショイ・オペラが、いまどのくらいの実力を持ち、どのような日本公演を行なうのか？公演されるプーシキン／チャイコフスキーの2つのオペラ「エフゲニ・オネーギン」と「スペードの女王」を中心に、ボリショイの現在の実力と日本公演について、映像をまじえながら、検証してゆく。(講師・記)

<講師紹介>堀内 修 (ほりうち・おさむ)

1949年東京都生まれ。'71～'74年ウィーン大学留学。'75年からクラシック音楽に関する批評等執筆活動に入り、雑誌、新聞に寄稿する。放送などでも活動。著書に『はじめてのオペラ』『オペラ歳時記』(講談社)、『ワーグナーへの旅』(新潮社)、『オペラに乾杯』(KKベストブックス)、『オペラと40人のスターたち』(音楽之友社)、『モーツァルトのオペラ』(平凡社)ほか。

日 時 2009年5月21日 木曜日 10:30～12:30

受講料(税別) 会員 2,940円 一般 3,570円

場 所 新宿住友ビル7階 朝日カルチャーセンター(申し込みは4階受付)

※お申し込みの際にご記入いただく皆様の個人情報は、受講連絡をはじめ当社からの各種お知らせ、講座企画の内部資料として使わせていただきます。

※講師の病気や受講生が一定数に達しない場合等やむを得ず講座を延期や中止することがあります。



朝日新聞の文化活動 朝日カルチャーセンター

〒163-0204 新宿住友ビル内 私書箱22号

新宿区西新宿2-6-1 TEL 03-3344-1998 (教養科直通)

インターネット情報接続先 <http://www.acc-web.co.jp>